

日ごとに秋も深まり、木々も紅葉する季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？朝晩は冷え込む日もありますので、風邪など引かれませぬよう、ご留意下さい。



## 行動医学チュートリアルを今年度から開講します。

今年度から新設された「行動医学チュートリアル」が12月に行われます。行動医学とは「心理学や行動科学の知見と技術を用いて、病因の解明と疾患の予防・診断・治療・リハビリに応用する」と定義されています。その内容は、行動の生理から、行動変容による疾患予防や健康増進、心理社会的要因と疾患・健康との関連など幅広く、基礎から臨床、公衆衛生など多くの専門分野にまたがる学際領域といえます。疾病構造の変化、健康教育、心理・ストレスへの社会的注目もあり、臨床現場や保健行政・公衆衛生領域で行動医学は重要なテーマとなっているほか、近年の医学教育においても、モデル・コア・カリキュラムや分野別認証評価（いわゆる国際認証）等で行動医学の学修プログラムが求められており、各大学で体系的なカリキュラム整備が進められています。山口大学でも、今年度から4年次のポリクリ開始前の臨床技能修得の一環として「行動医学チュートリアル」を新設し、現在開講に向けて準備中です。計画としては、各領域の先生方にご協力を頂いたオムニバス形式での講義やシナリオを用いたグループワークなどがあり、本学医学科の7つのディプロマポリシー全て、とりわけ「医療プロフェッショナリズム」「チーム医療とコミュニケーション能力」の涵養につながるユニットとして発展させていきたいと思ひます。今後ともご協力を宜しくお願ひします。

## 分野別認証評価の領域別部会を初開催しました。

分野別認証評価の自己点検評価報告書は、9つの領域から構成されていますが、この度、領域6に関する領域部会を行いました。医学教育センター、学務課で素案を作成し、読み合わせをした後、担当部署・講座・課へ問い合わせ、情報収集してブラッシュアップしたものを基に意見調整やブラッシュアップを行いました。医学教育センター、学務課のメンバーに加え、領域6を担当される石田教授、松山教授、松本教授にご参加頂きました。

今後、他の領域部会も順次行っていく予定ですので、ご協力の程、宜しくお願ひ致します。



## 宇部高校の生徒が基盤系研究室を訪問しました。

宇部高校がスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されていますが、その研究開発活動の推進の一環として、10月9日、11日に本学においてSSH先端医学体験セミナーが開催されました。保健学科と医学科にそれぞれ11名、14名の宇部高校1,2年生の生徒が訪問しました。医学科では、「自己開発コースへの参加体験」という授業テーマで、実験・実習を体験しました。高校生の皆さんは、実験を体験するのは初めてで、最初は慣れない様子もありましたが、徐々に慣れ、興味を持って取り組んでいる様子でした。2日間という限られた期間でしたが、今回のSSH先端医学体験セミナーが参加した皆さんの今後の進路決定の一助になればと思います。



## 自己開発コースの中間発表会が開催されました。

7月より3年生を対象とした自己開発コースが始まっていますが、10月18日、22日に学内の研究室に所属して研究を行っているプログラムコースの学生を対象として、中間発表会が開催されました。この中間発表会は、研究の成果発表が主目的ではなく、研究の背景、目的、意義、さらに立案された仮説およびそれを検証するための方法をしっかりと理解して研究を進めているかを確認することに主眼を置いています。発表時間は2分30秒、質疑応答は30秒と限られた時間で、多少時間がオーバーする場面もありましたが、皆さんしっかりと発表できていたように思います。教員から頂いた質問、コメントを今後の自己開発コースでの研究活動に活かしてほしいと思います。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ  
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp